

「札幌広域圏の総合交通  
グランドデザイン」実現  
に向けたフォーラムを開催

3月11日（月）

北海道新幹線札幌開業時の二次交通のあり方をテーマに当所が提言している「札幌広域圏の総合交通グランドデザイン」の実現に向け、地元の気運を盛り上げようと、フォーラム「札幌都心部と高速道路とのアクセス強化を考える」を3月11日に開催し、定員を超える約300名が参加した。

基調講演では、北海道大学大学院工学研究院の田村教授が「札幌広域圏の交通マスタープランを考える」として、創成川のアンダーパス化のメリットなどを説明したほか、パネルディスカッションでは、コーディネーターに北海商科大学佐藤馨一教授、パネリストに北都交通(株)渡邊克仁代表取締役社長、(株)ノーザンクロス山重明代表取締役、日本通運(株)札幌支店大谷知直北海道営業部次長、当所勝木紀昭地域開発委員長を迎え討論した。



4名のパネリストを招いた



主催者を代表してあいさつする  
星野都市問題・活性化委員長



基調講演する田村教授



パネルディスカッションの  
コーディネーターを務めた佐藤教授



パネルディスカッションで発言する  
勝木地域開発委員長

「北海道新幹線  
新函館（仮称）駅開業に  
向けた企業誘致説明会」

3月27日（水）

27日には、北海道新幹線新函館（仮称）駅周辺地区を商業・サービス施設の建設用地として立地促進を行う北斗市が「北斗市新幹線新駅前に立地するメリット」について説明する企業誘致説明会を開催し、北斗市の高谷寿峰市長が立地を呼びかけたほか、立地助成制度や用途の魅力について説明した。



「大きなビジネスチャンスだ」と  
あいさつする高向会頭



「官民総力を挙げて観光振興に取り組む」と  
あいさつした高谷北斗市長